

# ファッション流行情報:2007年春夏傾向

## 2007 SPRING & SUMMER IMAGE POINT

■07年は可能性の探求 07年商品構成の訴求イメージを解説します。

### 1) 懐古イメージ

思いで作りやナツメロ傾向は依然として継続します。今回は甘さが抑えられ、ポップな雰囲気やちょっとがむしゃらにも思えるような元気さ、新たなチャレンジ感覚が模索されます(下記のイメージ写真は、1970年に作られた伝説のロック歌手ジャニス・ジョプリンのレコード「パール」(左)から発想された企画)。

- レトロ・クラシックとモードを融合した1960~70年代のアクティブ・チャーミングな表現。
- スポーティ・セクシーなもの。スポーツらしからぬメトロセクシャルなユニセックス商品。
- モダンデザインの原点である1920年代バウハウスの機能的なデザイン。

### 2) 穏やかさ、静けさイメージ

生活を潤し安定させるような傾向が求められます。穏やかさや静けさの表現ではグレイッシュを多用したモノクローム感覚が定番でしたが、様々な光の透過をイメージしたものが台頭してきます。清らかな水の流れや朝焼け夕焼けの空間の広がりなど、自然観を意識的に取り入れて、無限の未来を訴求するようなモダン・スタイルが出現します。

- ロハス(LOHAS:環境に優しく健康的な生活)カジュアル化。通販要素。誰もが良さを認める大人デザイン。
- 自然環境を意識したハンドクラフト的なエッセンス。清涼感を生む商品。簡潔でクリーンなデザイン。

### 3) 活カイメージ

現代社会では何らかの自己抑制が求められます。しかし時には鬱積した欲求を解消する「はめはずし効果」も必要になります。お祭りやイベント、カーニバルなど、ある特定地域や一時期に限られた時間の中で生み出される刺激や熱狂、盛り上がり鼓舞するようなアグレッシブルでポップ、ノリの良さを感じさせる要素が求められます。

- 08年のオリンピックイヤーにつながるモチーフ。
- 欧米文化に偏りがちな要素を活性化させる未知の文化。中南米文化。混血文化。ラテン文化。

### 4) 再生イメージ

無駄を排除するための合理性や効率性が優先されます。そして不用品やジャンク品、廃棄物などを視点を変えて新たな地球エネルギー源として有用化していく流れが定番化してきます。

- 感性から理性思考へコンセプト転換したものが台頭。解体と再構築の見直し。
- Assemblage Art:アッサンプラージュ・アート:雑多な日用品や廃品を寄せ集めて作品化する現代美術を活用する手法。

墨田支所 嶋 明

TEL 03-3624-4049

E-mail:shima.akira@iri-tokyo.jp



TIRI News

2006年8月号 通巻5号

発行日/平成18年8月20日(毎月1回発行)  
発行/地方独立行政法人 東京都立産業技術研究センター  
総務部 情報システム課 広報係  
〒115-8586 東京都北区西が丘3-13-10 TEL.03-3909-2151 内275  
企画・印刷/秀研社印刷株式会社

(転載 複製をする場合は、情報システム課広報係までご連絡下さい。)

この雑誌は印刷廃棄物削減に  
取り組んでいます。  
2100  
東京都立産業技術研究センター